

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 145 事業名 環境基本計画推進事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		環境保全費	
	目		環境保全政策費	
	大事業		環境保全政策事業	
事項		環境基本計画推進事業		

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	3	地球環境の保全
取組	3	環境啓発・学習及び活動の推進

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H21	～ H29
関連個別計画	環境基本計画、地球温暖化防止実行計画、生活排水対策推進計画	
担当課・担当課長 (Tel)	環境政策課	瀧谷 善範(435-1114)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
	「みんなでつくる人と自然が共生する環境にやさしいまち わかやま」を望ましい環境像として掲げ、和歌山市を「健康で安心・安全に暮らせる魅力ある」、「多様な生物に恵まれ、緑豊かな自然と共に生きる」、「歴史と文化を生かし、個性とやすらぎのある」、「資源を大切に、循環型社会をめざす地球にやさしい」、「みんな考え、協働し、良好な環境づくりに取り組む」まちにすることを目的とする。	第2次環境基本計画の推進及び進行管理 H21～25を前期計画、H26～29を後期計画とし、見直し。 ・各課の施策の実績等照会（年1回） ・実績をとりまとめ、環境管理推進部会、環境保全対策協議会、環境審議会及び市議会環境保全対策特別委員会で報告。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		第2次和歌山市環境基本計画の実施。 第1次和歌山市環境基本計画の成果とりまとめ。 審議会等の開催	第2次和歌山市環境基本計画の推進。 審議会等の開催	第2次和歌山市環境基本計画の推進。 審議会等の開催		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	528	370	474	100	475	113	442				
	伸び率 (%)	-	-	-10.2%		0.2%		-6.9%			-100.0%	
	人件費	常勤職員	7,184	5,239	6,333	5,214	7,184	6,081	7,184			
		非常勤職員				67		162				
		小計	7,184	5,239	6,333	5,281	7,184	6,235	7,184			
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源(税等)	528	370	474	100	475	113	474					
所要人数	常勤職員	0.94	0.68	0.83	0.69	0.94	0.81	0.94				
	非常勤職員				0.03		0.06					

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	推進部会、協議会、審議会等開催回数				年度目標値	6	6	6	7	10
					実績値	5	3	3		
	単位	回	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	83.3%	50.0%	50.0%		
					年度目標値					
成果指標	(現在再検討中です。)				実績値					
					年度目標値					
	単位		全体目標値	100	全体目標達成度					
					年度別達成度					
					年度目標値					
				実績値						
				年度別達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	「第2次和歌山市環境基本計画」の目標達成のため、引き続き各部局との調整を図り、総合的、計画的に環境保全施策を推進する必要がある。
「見直し」「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	